

安全データシート

作成・改定日

2019年7月31日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ウルタイトスーパーCAⅡ (硬化剤)
会社名	東邦化成工業株式会社
担当部門	技術部
住所	〒171-0033 東京都豊島区高田2-1-12
電話番号	03-3988-3366
FAX番号	03-3985-6975

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3

* 記載が無い危険有害性は、区分外、分類対象外、又は分類できないである。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険



危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気。
強い眼刺激。
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。
呼吸器への刺激のおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。

注意書き

[安全対策]

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
静電気放電や火花による引火を防止すること。

[応急処置]

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

皮膚(又は毛髪)に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
直ちに汚染された保護衣を脱ぐこと。
保護衣を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。

飲み込んだ場合

直ちに医師の診断、手当を受けること、無理に吐かせないこと。

ばく露又はその懸念がある場合

医師の診断、手当を受けること。

[保管]

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

単一物質、混合物の区別 混合物

化学名 イソシアネート

成分	含有量(%)	化審法	CAS No.
トリス(フェニルイソシアネート) チオホスフェート	20～30	(3)-2538	4151-51-3
酢酸エチル	70～80	(2)-726	141-78-6
モノクロロベンゼン	0.1～<1	(3)-31	108-90-7

4. 応急処置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 水で数分間、注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、大規模な火災の場合は噴霧水

使ってはならない消火剤 棒状水

火災時の特有の危険有害性 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
引火性の高い液体及び蒸気。

消火を行う者の保護 (保護具等) 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い不浸透性の防護衣を着用する。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和 (封じ込め及び浄化の方法・機材)

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、覆って密閉できる空容器に回収する。また、吸収したものを集めるときは清潔な帯電防止工具を用いる。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
大量の場合、散水は蒸気濃度を低下させるが、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱及び保管上の注意

[取扱] 技術的な対策 (取扱者のばく露防止、火災爆発の防止など)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
眼や皮膚への接触、吸入を避けること。
飲み込まないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

<p>接触回避</p> <p>[保管] 技術的対策</p> <p>保管条件</p> <p>混触危険物質</p> <p>容器包装材料</p>	<p>環境への放出を避けること。</p> <p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p> <p>保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板、その他の軽量不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が浸入、又は浸透しない構造とすること。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。</p> <p>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙酸化剤から離して保管すること。 容器は直射日光や火気を避け、密閉して換気の良い冷暗所で施錠して保管すること。</p> <p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p> <p>消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。</p>
---	---

8. ばく露防止及び保護措置

<p>[酢酸エチル] 管理濃度</p> <p>許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) 日本産業衛生学会(2005年版)</p> <p>ACGIH(2005年版) TLV-TWA</p> <p>設備対策</p>	<p>200ppm</p> <p>200ppm 720mg/m³ (経皮吸収)</p> <p>400ppm</p> <p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。 高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。</p>
<p>[保護具] 呼吸器の保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼の保護具</p>	<p>適切な呼吸器保護具を着用すること。</p> <p>適切な保護手袋を着用すること。</p> <p>適切な眼の保護具を着用すること。</p>

皮膚及び身体の保護具

適切な保護手袋及び眼、顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	淡黄褐色透明液体
臭い	芳香臭
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	77°C(沸点)
引火点	-4°C(密閉式)
爆発範囲	下限 2.2 vol%、上限 11.5 vol%
蒸気圧	10kPa(20°C)
蒸気密度(空気 = 1)	データなし
比重(密度)	0.90~1.0(20°C)
溶解度	非水溶性 ケトン、エステル類の多くの有機溶媒に可溶
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	460°C
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	データなし。
危険有害反応可能性	アミンとアルコールに対する発熱反応あり。水と反応してCO ₂ を生成する。密閉した容器では圧力が上昇し、破裂する危険がある。
避けるべき条件	データなし。
混触危険物質	データなし。

危険有害な分解生成物

正しい取扱いと貯蔵をすれば、危険有害な分解生成物は発生しない。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット	LD ₅₀ >2500mg/kg OECD 試験ガイドライン 423
急性毒性 (酢酸エチル)	経皮 ウサギ 吸入(蒸気) ラット	LD ₅₀ >18000mg/kg LC ₅₀ >22.5mg/l/6h
皮膚刺激性	ウサギ 暴露時間4h	結果:軽度の刺激性 分類:区分外 OECD 試験ガイドライン 404
粘膜刺激性	ウサギ	結果:軽度の刺激性 分類:眼刺激 OECD 試験ガイドライン 405
呼吸器感作性		感作性あり 2006/121/EC, Annex IV
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)		麻酔作用(区分3)
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) (酢酸エチル)		気道刺激性、麻酔作用(区分3)

12. 環境影響情報

毒性	微生物類 活性汚泥 EC ₅₀ >10000mg/l OECD 試験ガイドライン 209
急性毒性(ミジンコ属) (酢酸エチル)	最大無影響濃度(生殖)2.4mg/l 種:オオミジンコ 暴露時間:21d
慢性毒性(魚類) (酢酸エチル)	最大無影響濃度<9.65mg/l 種:ファットヘッドミノウ 暴露時間:32d 初期生活段階試験
分解性 (トリス(フェニルイソシアネート) チオホスフェート)	微生物類 難分解(BOD:58.2%/28D) OECD 試験ガイドライン 301F



生分解性
(酢酸エチル)

試験の種類:好気性
接種原:活性汚泥
生分解:約69%, 20d, 易生分解性

生体蓄積性
(酢酸エチル)

生物濃縮係数(BCF):30
種:ゴールドンオルフェ
暴露時間:3d
生物体内に著しい蓄積は起こらない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

[ATA]

国連番号
国連輸送名
輸送危険物クラス
容器等級
環境危険有害性

1173
FLAMMABLE LIQUID, N.O.S(contains ethyl acetate)
3
II
非該当

[IMDG]

国連番号
国連輸送名
輸送危険物クラス
容器等級
環境危険有害性

1173
FLAMMABLE LIQUID, N.O.S(contains ethyl acetate)
3
II
非該当



特別の安全対策

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質	クロロベンゼン
消防法	危険物 第4類第1石油類	危険等級Ⅱ
労働安全衛生法	危険物 引火性の物 表示物質(第57条)	酢酸エチル クロロベンゼン
	通知物質(57条の2)	酢酸エチル クロロベンゼン
	第2種有機溶剤	酢酸エチル
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質	クロロベンゼン
悪臭防止法	特定悪臭物質	酢酸エチル
船舶安全法	引火性液体類	
航空法	引火性液体	
海洋汚染防止法	非該当(個品輸送の場合)	

16. その他の情報

注意

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありませんので、取扱いには十分な注意をお願いします。